



ご当地 **お坊さん** 茨城

茨 歯 会 報

No.557

茨城県歯科医師会

Ibaraki Dental Association

September

2015

平成27年

9





Contents

デンタルアイ	1
黒澤俊夫	
会務	3
理事会報告	34
会務日誌	36
学校歯科委員会だより	40
同窓会だより	44
専門学校だより	45
地区歯科だより	47
塩野宗則	
同好会だより	49
坂本かづよ	
寄稿	52
田中晃伸	
リレー通信	60
小澤淳人	
レディースコーナー	62
長岡未佐子	
国保組合 NEWS	63
赤えんぴつ	77

表紙写真について

10月の日光中禅寺湖と男体山。湖畔の展望台となる半月山から撮影しました。晴天の早朝、風のない湖畔に男体山が映ります。気温は氷点下近くまで下がります。

(社)水戸市歯科医師会 飯島 重樹

「百寿義歯」と健康長寿社会



副会長
黒 澤 俊 夫

このたび、3期目を迎えます森永執行部に加えさせていただきました。皆様のご指導、ご協力をいただき会務に邁進する所存です。よろしくお願いいたします。

さて、厚生労働省は、敬老の日を前に全国の100歳以上の高齢者が過去最多だった昨年より2700人余り増え、初めて6万人を超えたと発表しました。男性は7800人（12.7%）、女性は5万3000人（87.3%）であり、女性が百寿者のほとんどを占めています。そのうち、2割が自立、4割が寝たきり、残り4割の方がほぼ寝たきり状態ということです。そして、100歳を超える人生を送る人は、多少の羨望をもって百寿者（センテナリアン）と呼ばれております。

これまでに百寿者7名の方々と訪問診療で触れ合う機会に恵まれ、歯科医療は長寿をサポートする上で大きな意味合いを持っていることを気付かされて来ました。百寿者の口腔内それぞれの残存歯、義歯の装着状況、また全身的既往歴等から「健康百寿」への手がかりを調べてみました。

その結果、年齢は100歳から104歳、男性5名、女性2名、合計7名。口腔内は上下総義歯：3名、上顎総義歯・下顎部分義歯（残存歯8歯）：1名、上下部分義歯（各残存歯18歯、5歯）：2名、26歯残存：1名、（この方のみ

義歯非装着）でした。他の6名全員、欠損部は義歯を装着し、咬合は保持されていました。このことから、義歯装着、非装着に関わらず咬合回復がなされ、臼歯部の咬合支持があるということが百寿達成に一役買っていることが示唆されました。

また、全身的には26歯残存（アルツハイマー型）1名を含む2名に認知症、胃がん1名、高血圧症4名、心疾患3名、大腿骨頸部骨折2名含め、さまざまな既往歴をお持ちでした。なお特に申し上げたいのは、7名全員に肺炎そして糖尿病の既往歴が無かったということです。

去る8月、「健康長寿社会実現のために」をテーマに関東地区役員連絡協議会が宇都宮市で開催されました。そこで、赤川安正奥羽大学長による「高齢者に対する歯科医療の新しい価値ー咬合・咀嚼・嚥下が創る健康長寿ー」について興味深い講演を拝聴できました。その中で赤川先生は「義歯を装着する・咬合を回復・咀嚼する」効用を次のように述べられていました。

①誤嚥性肺炎の成立過程に、口腔ケアの実践とともに義歯装着による咬合の支持が極めて重要である。咬合支持の喪失が嚥下機能を低下させる要因ではないか。

②認知症高齢者に義歯装着による咬合の回復を行うことで転倒回数が大きく減少した。咬合支

持を維持・回復することが運動器の機能向上にインパクトを与える。

③義歯使用者は義歯非使用者に比べ、体重や血清アルブミン値が増加、義歯治療が栄養改善にインパクトを与えている。

それらについて、補綴歯科介入は介護予防、介護重症化予防はもとより健康長寿に貢献する、というクリアーなエビデンスを示されました。私が体験した7名の百寿者のライフスタイルをフォローしていただくまたとない良い機会となり、超高齢社会に向けての強い追い風をいただきました。

日本人の平均寿命は、現在男性80.5歳、女性

86.8歳と発表されており、今後もさらに伸びると予測され、人生90年時代を迎えようとしています。しかし健康寿命との差が縮小しなければ、健康上の問題だけでなく、医療費や介護費等の増大が懸念されています。2025年問題をはらんだこれからの超高齢社会、認知症対策、介護予防、フレイル予防、栄養、医科歯科連携などの多くの課題に直面しています。口腔ケアに加えて、補綴歯科介入のインパクトが大きなカギを握っており、「百寿義歯」を通して健康長寿社会実現に向けての灯りが見えて参りました。

株式会社 岩瀬歯科商会

昭和の幕開けと共に栃木県で創業した弊社は、今年で90年目を迎えます。皆様方への感謝を忘れず、未来を見据えた歯科ディーラー像を創造して参ります。

イワセオリジナルユニット
**SIGNO
NEXT**

こだわりと好みをひとつずつ反映しながら、ワンランク上のラグジュアリー空間と心地よさを演出します。

■ 社名 株式会社 岩瀬歯科商会
■ 代表取締役 岩瀬 浩二
■ 本社 栃木県宇都宮市平出工業団地37-6
■ 電話 028-613-5858
■ FAX 028-613-5859
■ Eメール iwase@iwase-dent.com

製造販売・製造
株式会社モリタ東京製作所
本社 埼玉県さいたま市中央区上落合2-1-24 TEL 048-882-1315
伊原工場 埼玉県北足立郡伊原町小室7129 TEL 048-723-2621

発売
株式会社モリタ
大阪本社 大阪府吹田市滝水3-33-18 TEL 06-6380-2525
東京本社 東京都台東区上野2-11-15 TEL 03-3834-6161



事業所案内

本社	台東区台東2-23-7	TEL-03-3832-8241
宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL-028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL-029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷観音下159-1	TEL-047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL-043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL-03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL-0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL-024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL-03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11	TEL-03-5912-1180
横浜支店	横浜市栄区小菅ヶ谷1-28-9-101	TEL-045-895-3808
5月GW明け以降	横浜市磯子区中原2-1-19	NEW TEL-045-770-4182
前橋支店	前橋市紅雲町1-22-2	TEL-027-243-8241
5月GW明け以降	高崎市京目町176-2	NEW TEL-027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL-046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL-048-688-1740
盛岡支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL-019-648-2777
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL-042-590-5770

会務

関東地区歯科医師会役員連絡協議会開催される

8月27日、平成27年度関東地区歯科医師会役員連絡協議会（当番：栃木県歯科医師会）が、宇都宮市のホテル東日本宇都宮においてメインテーマを「健康長寿の実現のために」として開催された。関東地区の各都県より役員、委員など約130名が集まり午前11時から分科会、午後1時30分から、とちぎリハビリテーションセンター所長・病院長 星野雄一先生の特別講演1（演題：ロコモティブシンドローム）、奥羽大学学長 赤川安正先生の特別講演2（演題：高齢者に対する歯科医療の新しい価値）が開催された。

分科会は、第1分科会（時局問題について）、第2分科会（大規模災害について）、第3分科会（歯

科口腔保健の充実について）の3つに分かれ、意見交換、協議を行った。内容は後述の分科会報告をご覧ください。

午後3時からの全体協議会では柴田勝栃木県歯科医師会長の挨拶の後、退任役員記念品贈呈、来賓挨拶（福田栃木県知事、高木日本歯科医師会長、高橋日本歯科医師連盟副会長、由井日本学校歯科医会副会長）、来賓紹介と続き、次期当番県は群馬県と決定した。続いて、議長に柴田栃木県歯科医師会長、副議長に村山群馬県歯科医師会長が選出され、前年度協議会処理報告は茨城県、分科会報告は栃木県が報告し、協議では、日歯へ要望書を提出することが決定された。

理事会報告

第6回理事会

日 時 平成27年8月20日（木）午後2時

場 所 茨城県歯科医師会館 会議室

1. 報 告

(1) 一般会務報告

(2) 後援名義の使用許可について

①「認知症フォーラムin水戸（一般公開講座）」後援のお願い

②「第14回認知症フォーラム、いばらき」後援のお願い

③第19回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会への後援・単位認定について

＊単位については、歯科（生涯研修）も含まれるか確認する。

④茨城県難病相談・支援センター地域交流活動事業「難病フェスタ2015」の後援について

⑤第25回茨城がん学会の後援について

⑥第65回茨城県社会福祉大会の協賛依頼について

(3) 疾病共済金の支払について

(4) 8月開業予定の歯科医院について

(5) 新基金活用事業平成28年度事業提案について
平成26年度に3カ年計画で承認され事業進行中。

平成28年度に関しては、歯科衛生士科：診療ユニット、歯科技工士科：CAD/CAM申請予定。

(6) 口腔センター名称変更に伴う規程の改正について

7月1日から名称変更し、規程等変更する。

(7) 防災危機管理小委員会報告について

(8) 各委員会報告について

医療管理委員会、厚生委員会、介護保険委員会、学校歯科委員会、社会保険委員会、専門学校

2. 協議事項

(1) スタッフセミナーの講師謝礼について
標記講師謝礼について、承認した。

(2) 禁煙支援研修会講師謝礼について
標記講師謝礼について、承認した。

(3) 取手市歯科医師会主催第22回「いい歯の日の催し」後援依頼について
標記後援依頼について、承認した。

(4) 歯と口の健康フェスティバル企画書について
標記企画書について、確認した。

(5) 第1回地区会長協議会について
標記協議会について、議題等を確認した。

(6) 白寿記念品、長寿祝金について

①長寿祝金 終身会員となってから5年を経過した者

山本理一郎（日立）、谷川 康介（日立）、塚原 芳郎（日立）、若松 健一（日立）、橋本 武典（水戸）、入江 靖雄（鹿行）、榊原 勝喜（土浦石岡）、長浜 満男（西南）

②白寿会 平成26年度に終身会員となった者
加藤 裕之（日立）、薄井 彰（珂北）、森永 和男（水戸）、石橋 英郎（鹿行）、小竹 勝也（土浦）、田所 英之（県南）、片桐 武美（県南）、染谷 桂子（県南）、木村 寿（西南）、藤井 節子（西南）

※白寿記念品は今回で終了とする。

森永和男氏は今回辞退する。

- (7) 公益目的事業に対する補助金支給のお願い
(県南歯科医師会)
標記補助事業について、承認した。
- (8) 茨城県歯科医師会情報管理規程について
標記について、継続して審議することとした。
- (9) 茨城県歯科医師会個人情報保護規程について
標記規程について、継続審議とした。
- (10) 理事の職務執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制等の整備について
標記について、継続して審議することとした。
- (11) 防災危機管理運営委員会規程の改正について
標記規程の改正について、承認した。
- (12) 第54回全日本学校歯科保健優良校の推薦について
標記推薦について、承認した。
- (13) 「あなたの街の歯医者さん」のデータベース運用化に伴う追加情報と、一部開示について
標記について、承認した。
- (14) 支払基金からの歯科調査依頼について
標記調査依頼について、承認した。
- (15) 睡眠時無呼吸症候群医科歯科連携登録歯科医について
標記について、承認した。
- (16) 水歯会と協定内容素案について
標記について、承認した。
- (17) 歯科衛生士科学生の就職について
標記について、継続して審議することとした。
- (18) 平成27年度茨城県歯科保健医療サービス提供困難者への歯科保健医療推進事業の委託契約について
標記について、承認した。
- (19) 平成28年新年会の余興について（平成28年1月21日水戸プラザホテル）
標記について、継続して審議することとした。

アイ・デー・エスは…

医師賠償責任保険

所得保償保険

自動車保険

火災保険

小規模企業共済制度

生命保険

…など各種保険の代理店、集金業務を行います。新規加入、増額変更、何なりと御用命下さい。

(アイ・デー・エスは、イバラキ・デンタル・サービスのイニシャルです。)

有限会社 **アイ・デー・エス**

代表取締役 **森 永 和 男**

水戸市見和2丁目292番地 茨歯会館内 TEL:029(254)2826

会務日誌

- 8月20日 第6回歯科助手講習会を開催。「口腔衛生指導」「歯科材料の取り扱い」について講義を行った。
受講者 57名
- 8月20日 県口腔保健支援センター運営委員会が県庁舎にて開催され、平成28年度口腔保健支援センター事業について協議が行われた。
出席者 森永会長
- 8月20日 スタッフセミナーの講師謝礼、禁煙支援研修会講師謝礼、取手市歯科医師会主催第22回「いい歯の日の催し」後援・支援のお願い、歯と口の健康フェスティバル企画書について、第1回地区会長協議会、白寿記念品、長寿祝金、公益目的事業に対する補助金支給のお願い、県南歯科医師会、茨城県歯科医師会情報管理規程、茨城県歯科医師会個人情報保護規程、理事の職務執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制等の整備、防災危機管理運営委員会規程の改正、第54回全日本学校歯科保健優良校の推薦、「あなたの街の歯医者さん」のデータベース運用化に伴う追加情報と一部開示、支払基金からの歯科調査依頼、睡眠時無呼吸症候群医科歯科連携登録歯科医、水歯会と協定内容素案、歯科衛生士科学生の就職、平成27年度茨城県歯科保健医療サービス提供困難者への歯科保健医療推進事業の委託契約、28年新年会の余興について協議を行った。
出席者 森永会長ほか18名
- 8月20日 第4回地域保健委員会を開催。高齢者よい歯のコンクール、歯科保健賞、噛むかむレシピコンテスト、生活習慣病対策事業と禁煙支援研修会、出前教室、県民歯科保健大会・歯と口の健康フェスティバルについて協議を行った。
出席者 渡辺地域保健部長ほか11名
- 8月20日 第5回広報委員会を開催。会報7・8月号の校正、10月広報座談会、会報9月号の編集について協議を行った。
出席者 小林広報委員長ほか4名
- 8月20日 第1回地区会長連絡協議会を開催。茨城県歯科技工士会からの提案への対応、会費未納入者への対応、事業所健診について協議を行った。
出席者 間宮日立地区会長ほか28名
- 8月21日 第2回在宅歯科医療推進協議会を開催し、実態調査に関する事業要旨、平成28年度基金事業について協議を行った。
出席者 森永会長ほか5名
- 8月23日 全国共通がん医科歯科連携講習会を鹿行歯科医師会との共催で潮来市にて開催。がん医療に携わる歯科医師の人材育成と全国のレベル統一を図るためDVDによる講習会を行った。
受講者 27名

- 8月25日 摂食嚥下研修会の2回目を開催。「哺乳・離乳期の発達とその障害」について研修を行った。
- 受講者 101名
- 8月26日 保険医療機関に対する個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。
- 対象医療機関数 3
- 8月27日 第7回歯科助手講習会を開催。「歯科技工」「技工材料の取扱い」について講義を行った。
- 受講者 55名
- 8月27日 関東地区歯科医師会役員連絡協議会が宇都宮市「ホテル東日本宇都宮」にて開催される。メインテーマは「健康長寿社会の実現のために」、サブタイトルとして「健康寿命の延伸に向けた歯科医療を考える」が設定され、第1分科会（時局問題）、第2分科会（大規模災害）、第3分科会（歯科口腔保健の充実）に分かれテーマに沿って協議が行われ、その後は特別講演、全体協議会が行われた。
- 出席者 森永会長ほか10名
- 8月27日 第66回関東甲信越静学校保健大会が「静岡県コンベンションアーツセンター」において開催された。本年度テーマは「健やかでたくましい心と体の育成を目指して」。特別講演「健やかな毎日を送るためには～総合診療医の立場から～」においては大阪医科大学地域総合医療科学寄附講座の鈴木富雄氏が講演され、午後からは5班編成での班別研究協議会が開催され、第4班〔学校歯科保健〕では「生活習慣病の予防等を目指した歯・口の健康づくり」をテーマに研究協議が行われた。
- 出席者 千葉理事ほか1名
- 8月27日 第66回関東甲信越静学校保健大会の歯科職域部会がホテルセンチュリー静岡にて開催される。「学校歯科医の立場から食育を考える」と題してモンゴル健康科学大学歯学部岡崎好秀先生が、「中学校における食育推進の実際」と題して沼津市立長井崎中学校学校歯科医の桑原聡先生、沼津市立大平中学校養護教諭の山田忍先生がそれぞれ講演された。
- 出席者 千葉理事ほか1名
- 8月29日 茨城県総合防災訓練が桜川市において開催される。桜川市総合運動公園では医療救護所にてJMAT茨城チームとして救援・救護訓練を、南飯田小学校に設置された避難所への巡回診療と患者役ボランティアに対する口腔ケアを実施した。また、展示ブースにおいては、一般参加者に対しパネル・器具の展示を行った。
- 出席者 森永会長ほか5名
- 8月29日 警察歯科医会全国大会が「我々にとっての災害とは何か？～全国に問う災害想定とその対応～」をテーマに宮城県仙台市にて開催。講演、シンポジウム、及びポスターセッションが行われ、水戸市の大澤賢祐氏が本会防災・危機管理プロジェクトチームの活動についてポスター発表を行った。
- 出席者 大澤防災危機管理運営委員ほか4名
- 9月 2日 第5回厚生委員会を石岡市にて開催。第37回茨歯会親善ゴルフ大会、歯と口の健康フェス

ティバルについて協議を行った。

出席者 増本厚生部長ほか10名

9月 2日 臨床実習講師会を茨歯会館にて開催し、平成27年度臨床実習について協議を行った。

出席者 小鹿学校長ほか44名

9月 3日 第37回茨歯会親善地区対抗ゴルフ大会をサミットゴルフクラブにて開催。団体戦の結果は土浦石岡歯科医師会が優勝、準優勝は鹿行歯科医師会、3位は茨城県南歯科医師会となった。個人戦では大内肇氏（日立歯科医師会）が優勝、準優勝は草野廣幸氏（鹿行歯科医師会）、3位は小野瀬弘記氏（茨城県南歯科医師会）であった。

参加者 106名（会員 98名、招待者ほか 8名）

9月 3日 G7茨城・つくば科学技術大臣会合推進協議会（仮称）が県開発公社にて開催された。

出席者 鈴木事務局長

9月 3日 第3回学術委員会をおかざき矯正歯科クリニックにて開催。茨城県歯科医学会、栃木県歯科医学会、睡眠時無呼吸症候群講習会、CAD／CAMシンポジウムについて協議を行った。

出席者 岡崎学術部長ほか9名

9月 4日 県警大震災警備訓練の一環として、県警捜査一課主催の多数死体取扱要領訓練が県警察学校武道館にて実施され、本会よりの講師が口腔内所見採取について講演を行った。

出席者 櫻川警察歯科医ほか1名

9月 4日 茨城政経懇話会9月例会がホテルテラスザガーデン水戸にて開催された。

出席者 森永会長

9月 5日 茨城県病院歯科医会総会が霞ヶ浦医療センターにて開催され、会員病院近況紹介等が行われた後、茨城県病院歯科会員病院の現状について企画講演が行われた。

出席者 森永会長ほか1名

9月 9日 第5回社会保険正副委員長会議を開催。第5回社会保険委員会、指導、保険請求のQ&A改定、指導対策（カルテンジャー）、社保・国保との合同協議会の日程、指導立会者変更について協議を行った。

出席者 榊社会保険部長ほか2名

9月 9日 第5回社会保険委員会を開催。保険請求のQ&A改定、指導対策（カルテンジャー）、社保・国保との合同協議会開催日について協議を行った。

出席者 榊社会保険部長ほか19名

9月10日 茨城歯科専門学校戴帽式を挙行。歯科衛生士科2年生48名が小鹿校長から戴帽の儀を受けた。

出席者 211名

9月10日 第180回日歯臨時代議員会が日歯会館にて開催される。日本歯科医師会代議員会議長及び副議長選出の件について決議を執り行った。

出席者 森永日歯代議員ほか2名

9月11日 歯と口の健康に関するポスターコンクールの第1次審査を茨歯会館にて実施。県内の小・中学校より集まったポスター725点に対して審査を行い、小学校60点、中学校36点の作品を

第2次審査会に向けて選出した。

出席者 千葉学校歯科部長ほか9名 美術学識経験者2名

9月11日 第2回学校歯科委員会を開催。ポスターコンクール、学校歯科保健研修会、よい歯の学校表彰調査票並びに審査基準、歯と口の健康フェスティバル催事、マウスガード講習会、茨城県歯科医学会、学校歯科医研修会、茨城スポーツ・健康づくり歯学協議会プロジェクトチーム創設案、児童虐待早期発見プロジェクトチームの創設企画案、標語コンクールについて協議を行った。

出席者 千葉学校歯科部長ほか9名

9月11日 四師会災害と連携協定に基づく会議が県医師会にて行われ、各師会の災害対応、JMAT茨城巡回診療への参加について協議を行った。

出席者 小鹿副会長ほか3名

9月15日 県後期高齢者医療広域連合第1回保健事業部会が水戸市内にて開催された。

出席者 小林常務ほか1名

9月16日 日学歯臨時総会がアルカディア市ヶ谷にて開催された。

出席者 森永会長ほか1名

原稿募集

身近な出来事から臨床まで皆さまのご意見・感想を載せてみませんか。

「茨歯会報」は会員皆さまの会誌です。臨床におけるヒントや趣味、旅の思い出など、また地区歯科医師会や同好会・同窓会の様々な活動（研修会、厚生事業）など何でも結構です。会報をフルにご活用下さい。

Eメールの投稿で結構です。形式はどんな形式でもかまいませんが、出来ればテキスト、ワード、一太郎、にてお送り下さい。

詳しくは、茨歯会事務局まで。

E-mail id-05-koho@ibasikai.or.jp

広報委員会

平成27年度 学校歯科保健研修会報告

学校歯科委員会 藤縄 弘之

平成27年8月6日（木）猛暑の中、茨城県立県民文化センター小ホールにおいて、平成27年度学校歯科保健研修会が、参加者156名（保健主事3名 養護教諭112名 歯科医師20名 歯科衛生士16名 その他5名）にて開催されましたのでご報告いたします。

森永会長が急な公務のため黒澤俊夫副会長よりご挨拶いただき、千葉学校歯科担当理事より趣旨説明があり、その後、日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座教授 沼部幸博先生による講演が行われました。



演題 「歯周病予防で健康寿命アップ！」

ー全身の健康はお口の中からー
日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座
教授 沼部 幸博 先生

1. 歯周病はどういう病気か？

平成23年度歯科疾患実態調査では、日本の45～49歳において86.7%に歯周病の所見があり、歯周



病罹患率は年齢と共に上昇する。

2. 歯周病の原因は？

口腔内のプラーク・菌石によって引き起こされるが、そのバックグラウンドに、生活習慣・環境・遺伝のリスクファクターが存在する。

3. 歯周病になりやすい人は？

口の中のリスクファクター（口の中に関心が薄い。やわらかいもの、甘いものを好む。口呼吸。歯ぐきしり。歯並びが悪い。）と全身的なリスクファクター（喫煙。糖尿病。女性の思春期、妊娠、更年期。不摂生な生活。ストレスが多い。）があり、特に、喫煙は、1日の喫煙本数、期間共に病態悪化が相関し、歯周病最大のリスクファクターである。

4. 歯周医学（ペリオドンタルメディシン）とは？

歯周病が心内膜炎、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、肺炎、低体重児出産、早産、糖尿病患者の血糖値コントロール不全などと関連があることが示

されている。

虚血性心疾患、脳血管性疾患：歯周病から血栓が形成され、どここの血管でも詰まる可能性があり、統計的に歯周病患者での罹患率が高い。

肺炎：歯周病患者では、誤嚥性肺炎の危険性が高まる。要介護高齢者において口腔ケアによって誤嚥性肺炎の発症率が低下したことが報告されている。

がん：歯周病とがんの関係は、エビデンスが研究中ではあるが、愛知県がんセンター研究所の疫学調査では、1日2回以上歯を磨く人が口腔や食道がんになる危険性が1回の人より3割低いことが示された。

糖尿病：糖尿病の歯周病増悪への影響、また逆に歯周病から糖尿病への影響がある。



歯周治療によってHbA1cは統計学的に有意に0.36%改善することが報告されている。

5. 歯周病予防はどうする！

歯ブラシによるプラークの除去。

スケーリング、ルートプレーニングによる歯石の除去。

6. まとめ

健康寿命をアップするためには、小・中・高校時代からの歯周病に対する啓発と予防をすることが必要で、将来起こり得るメタボリックドミノに歯止めをかけることができる。また、歯周病の治療・予防は、歯科医師、歯科衛生士だけでなく、多業種の連携と協力が必要である。



第66回 関東甲信越静学校保健大会報告

学校歯科委員会 椎名 和郎

平成27年8月27日（木）静岡県コンベンションアーツセンター（愛称：グランシップ）に於いて第66回関東甲信越静学校保健大会が開催されまし

た。千葉理事と参加しましたので報告します。

特別講演

演題「健やかな毎日を送るためには～総合診療

医の立場から～」

講師 大阪医科大学地域総合医療科学寄附講座
特別任命教授 鈴木 富雄 先生



「死なないための医療ではなく、生活の中での生きがい、やりがいを支えるのが医療の目的」とお話になっていました。

班別研究協議会 第4班 学校歯科保健

課題 生活習慣病の予防等を目指した歯・口の健康づくり

協議内容

1. 歯・口の健康づくりの日常化を目指す学校歯科保健指導の在り方
2. 家庭及び地域社会との連携による歯科保健活動の在り方

提案者 埼玉件熊谷市立富士見中学校

養護教諭 中島 良子 先生

(1) 学校歯科医との連携

- ・年2回の歯科検診。歯科講話。
- ・検診をしながら磨けていない所（ターゲットポイント）を指摘する。

(2) 生徒保健委員会の活動

- ・各クラスの保健委員が昼食後の歯みがきを呼びかけ、歯みがき率100%を目指す。
- ・ポスターや標語の募集。各家庭でのプラークテストの実施。
- ・CO、GOがある生徒と、う歯の未治療者を対象にした放課後の「歯みがき教室」。

- ・HQC（ヘルス・クオリティー・コントロール）シートを用いた生活習慣のチェック。

(3) 地域との連携

- ・学校保健委員会を使って、家庭や地域に発信する。
- ・小中連携として、保健委員が小学校へむし歯予防のビデオレターを送る。

保健委員の生徒達が自主的に「自分の健康は自分で守る保健活動」を行っていました。むし歯の治療率は3年続けて90%を上回っていました。

提案者 群馬県伊勢崎市立境剛志小学校

養護教諭 山崎 妙子 先生

(1) 保健管理

- ・歯科検診を受ける前に自分の歯・口の状態を聞き取る活動。
- ・ワークシートを用いた事後指導。

(2) 保健教育

- ・小中9年間を通した歯・口の健康づくり年間指導計画を教育活動の中に位置づける。

(3) 組織活動

①学校保健委員会

- ・清涼飲料水の中の糖度測定、噛み応えのあるおやつをつくる。

②地域保健委員会

- ・咀嚼力判定ガムなどを使い、咬むことの大切さを知らせる。
- ・かみかみセンサーなどを用いて、良く咬むことに取り組む。

③家庭との連携

- ・ワークシートを用いた「親子で歯ッピーチャレンジ」
- ・咀嚼力判定ガムを使った「親子でカムカムチェック」

④地域・家庭との連携

- ・小中合同歯科保健講演会
- ・高崎健康福祉大学との連携：噛みごたえ

のあるおやつ作り。給食時間中に栄養指導、姿勢の指導など。

- ・食生活改善推薦委員との連携：健康おやつの方作り指導。

中学校と協力して歯・口の健康づくりを行っていました。また、地域の大学、食生活改善委員の協力を得るなど、地域の力をうまく利用していました。

第66回 関東甲信越静学校保健大会 歯科職域部会

会場：ホテルセンチュリー静岡



講演1 学校歯科医の立場から食育を考える

講師：国立モンゴル医科大学歯学部

客員教授 岡崎 好秀 先生

- ・最近の子供は唾液の分泌量が少ない。これは流し込み食べの影響があるのではないかな？給食の牛乳は最初に一口飲んで、残りは食事が済んでから飲むようにすると良い。
- ・最近ディープバイトの子供が多い。これは前歯で物を噛みきることをさせないため。ディープバイトでは下顎の位置が後退し、气道を狭くすることがある（子供でも睡眠時無呼吸になることがある）。食べ物あまり小

さく切らずに与え前歯で噛みきる練習をさせる必要がある。

講演2 食育と口腔機能健全育成に関するモデル事業について

～歯と口の健康づくりは食習慣と生活習慣から～

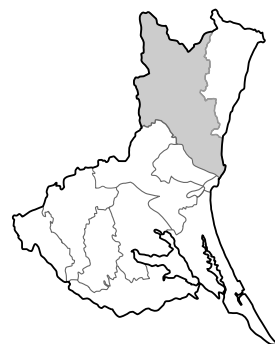
講師：沼津市立大平中学校（元 沼津市立長井崎中学校）養護教諭 山田 忍 先生

1. 継続したセルフチェックカードの実施と事後措置
 - ・生徒保健委員会をリーダーとしてフロアの個別指導
 - ・啓発DVDの作成
2. 実践力を身につけるために
 - ・酸蝕菌、歯肉炎の原因と予防についての知識を身につける。
 - ・カミカミメニューのレシピ集作成。

講師：沼津市立長井崎中学校

学校歯科医 桑原 聡 先生

1. 歯科健康診断と事後措置
 - ・ブラッシング指導の個人カルテの作成。
2. 食育の授業
 - ・酸蝕菌と飲み物の関係。
 - ・食生活だけでなく、睡眠まで含めた生活のリズムの大切さ。
3. 三校合同保健委員会
 - ・学校歯科医3名と栄養職員2名で5つのブースを作り、生徒に話を聞かせる。
 - ・カミカミメニューコンクールの入賞作の試食。



河北歯科医師会 那珂市歯科医師会

社会福祉法人ナザレ園（茨城県那珂市中里） 中里自治会合同防災訓練

（社）河北歯科医師会 塩野 宗則

那珂市において、8月23日社会福祉法人ナザレ園（茨城県那珂市中里）中里自治会合同防災訓練が実施されたので報告いたします。

社会福祉法人ナザレ園は社会福祉事業を行っている非営利組織です。

社会福祉法人ナザレ園は、昭和24年に開設した老舗の社会福祉法人であり、養護老人ホーム（定員110名）、盲養護老人ホーム（70名）、救護施設（90名）、特別養護老人ホーム（137名）のほか、通所介護、訪問介護、訪問看護等の居宅介護サービス事業、地域包括支援センターの運営も実施しています。

同法人では、昭和40年代から施設利用者が法人内の高齢者住宅居住者に食事を届けるサービスが行われており、現在では市内全域の一人暮らし高齢者等を対象に365日、昼食と夕食の配達が行われています。

法人の役割として、災害発生時に、被災者、および入居者が施設で安全に生活が送れるように、日常から準備しておくことが求められています。

法人では、災害等が発生した際に

も利用できるソーラーパネルを設置して非常用電源を確保しており、停電時でも大丈夫な環境を整えています。また、那珂市と福祉避難所としての協定を結んで調印を行うとともに、上水道の断水時でも地域の方が水の使えるように災害時協力井戸も備えております。





定期的な防災訓練を実施しナザレ園自営消防隊も組織し、防災に対し非常に積極的な取り組みをしている法人です。また、ナザレ園だけでなく、地域の中里自治組織との連携

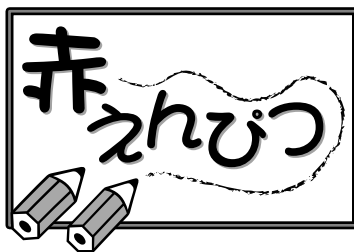
も強く、災害時の福祉避難所、救護施設としての指定も受けております。

災害時の対応として、入所者の避難訓練・1ヶ月分の非常食の備蓄、発電器、簡易トイレ、周辺住民の受け入れ態勢も完備しております。

この度の訓練では、周辺住民の避難先となった、公民館等から負傷者を受け入れる訓練や消防による高所に取り残された入所者のはしご車による救助、消火器による消火訓練、炊き出しが実施されました。

那珂市歯科医師会においては、5名の会員が訪問歯科診療の啓蒙の為パンフレット、歯ブラシの配布、災害時歯科医療についての説明等を実施しました。





海外旅行記1（グッドウッド予備知識編）

今年、イギリスの「2015年グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピード」を、観に行ってきました。

興味のある人は面白いかもしれないが、そうじゃない人は能書きでつまらないと思うが、まずこのフェスティバルとは。イングランドのウェスト・サセックス州のチチェスター郊外にあるグッドウッドサーキットで開催されるモータースポーツのイベントである。今年は6月25日～28日の4日間開催された。

このフェスティバルの主催者のリッチモンド公爵家は、このサーキットやサーキット内にある空港、カントリー・ハウス（日本だと江戸時代の大名家敷かな）他には競馬場なども所有している。

毎年この会場には、その年のテーマを象徴する巨大なモニュメントが飾られ、今年はマツダがその栄誉にあずかることとなった。そのモニュメントは、マツダの飽くなき挑戦の象徴とも言える「マツダ787B（レプリカ）」と、ドライブシミュレーションゲーム「グランツーリスモ6」の中にある「マツダLM55ピジョングランツーリスモ」

を先端に配置させた、マツダの軽快さ強さを表した美しいオブジェであった。



尚この文章の旅行記が面白いようなら続き、つまらない時はこの一話でお終いとなります。

この度の大雨により、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

（コスモッコ）

この夏、久しぶりにオールデンタル（バスケットボール）を観に行った。8月上旬の会津若松。とにかく暑い。バスケットボールはもちろん体育館で行なうが、湿度が高く熱中症になりそう。昔はこんなにも体に悪そうなスポーツをよくやっていたものだ、とつくづく思った。

この日は予選リーグ最終日。決勝トーナメントがかかっており、白熱した試合を観ることができた。学生たちの頑張りに興奮してしまった。会津観光と喜多方ラーメンを食べて帰宅。なんだか若返った気がした。

そして先日、ワールドカップバレーの陰でひっそり行われていた、女子バスケットボールのオリンピック予選。決勝で中国に快勝しリオ五輪出場決定。スカパーで中継していたが、あまりの大勝に拍子抜けしてしまった。

それにしても、この大事な試合が地上波の放送がない。ロンドン五輪予選もそうだった。そのときも、ここに似たようなことを書いたのを思い出した。バスケット不遇の時代は続いているようだ。（いちバスケットボールファンの嘆きでした）

この度の記録的豪雨による水害に際しまして、被災されました方々には心よりお見舞い申し上げます。常総市内の先生に被災地の状況を撮影した写真を見せていただき、あの東日本大震災を思い起こすようなシーンが多々あり、心が痛みました。一日も早い復旧をお祈りいたします。

(仁)

まず、この度の水害で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、過日のお盆休みに用事があり自分の歯科

医院へ行ってみると、入り口の手すりにビジネスバッグが引っかけてあり、中を調べてみると、お財布からクレジットカード、免許証、家、車のカギ、果ては奥様の入院申請書等、大事な物がたくさん入っていました。これは大変だと、すぐに警察に届けました。後日落とし主がお礼にみえた時、お話をしてみると、自宅は松戸で、勤務先はつくばだそうですが、土浦で飲んで泥酔してしまったそうです。大事な物が本人に戻って本当に良かったと思いました。そして、落とし物をした時には、すぐに警察に連絡すれば、見つかる可能性が高まると思いました。

(勝)

電話相談のお知らせ

現在、茨城県歯科医師会では会員の方々の様々な疑問、問題に対処できるよう以下の4名の専門家と顧問契約を結んでおります。

顧問弁護士	大和田一雄氏	法律相談全般
	飯島章弘氏	医療事故に関すること
医療アドバイザー	古川 章氏	保険請求や各種届出などに関すること
社会保険労務士	皆川雅彦氏	従業員との労働契約、労務関連など

相談したい事柄がございましたら、お気軽に茨歯会事務局まで電話、またはFAXにてご連絡ください。各先生との相談の日程などの調整、あるいは後日回答できるように致します。ただし、相談は無料ですが、その後は個別対応となります。



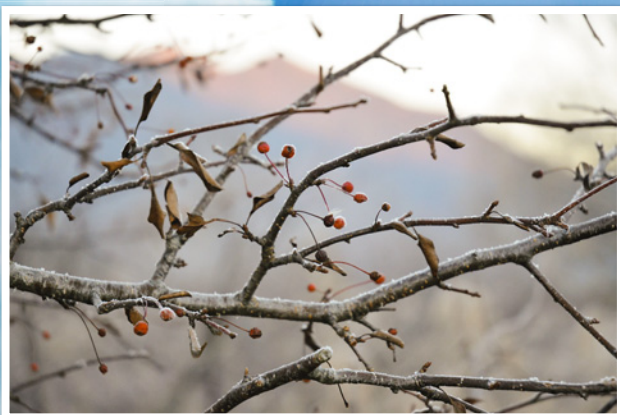
茨城県歯科医師会事務局
電話 029-252-2561
FAX 029-253-1075

みんなの写真館



(社) 水戸市歯科医師会

飯島 重樹



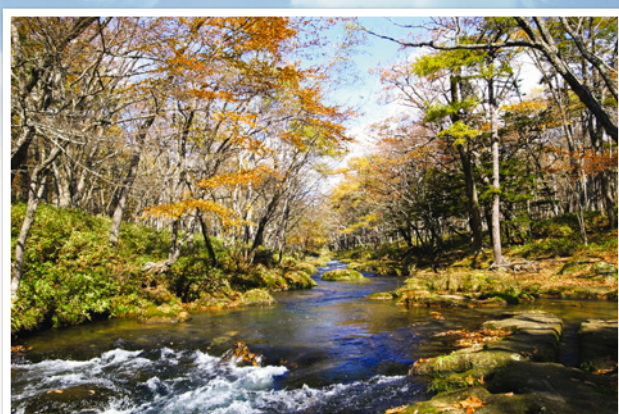
戦場ヶ原、10月の朝



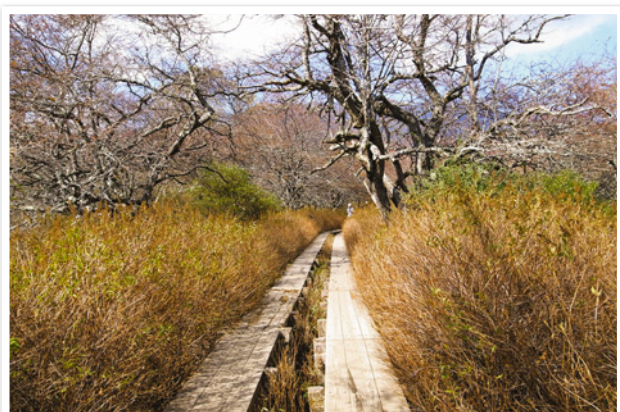
朝日に染まる中禅寺湖畔



戦場ヶ原と日光白根山遠望



湯川



草紅葉の木道

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員	1,144名
2種会員	44名
終身会員	141名
準会員	1名
合計	1,330名

会 員 数

平成27年8月31日現在

支 部	会員数(前月比)
日 立	123
珂 北	138
水 戸	160 +1
東西茨城	75
鹿 行	103
土浦石岡	173 +1
つくば	120
県 南	175
県 西	154
西 南	108 +1
準 会 員	1
計	1,330 +3



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 平成 27 年 9 月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 征矢 亘

編集人 菱沼 一弥



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。